

講義名	日本語総合B			授業形態	
担当教員	井開 和恵	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	JPN101
主題と概要					
本講義は、大学生活や日常生活において必要な基礎的かつ総合的な読解力をつけることを目標とする。 具体的には、日本語の説明文や指示文、解説文、随筆などのテキストを読み、内容を理解する。そして、読んだ内容をもとに自分自身の意見を論理的に述べる練習も行う。					
到達目標					
大学の授業や日常生活のあらゆる場面において必要とされる日本語の読解力を身に付け、その内容が理解できるようになる。 日本語で読んだ文章や情報素材の内容から自身で考えて、論理的な意見を発信できるようになる。					
提出課題					
ワークシートや宿題、小テストなどは、授業内もしくはポータル上で随時指示する。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
ワークシート、宿題、小テストなどは添削して返却する。受講生の多くに間違いが見られた問題に関しては、再度解説を行う。					
評価の基準					
授業中の課題達成度（３０％）、授業内発表（１０％）、中間の理解度確認（３０％）、期末の理解度確認（３０％） 全授業の1/3（５回）以上欠席した受講生については、成績評価の対象から外す。					
履修にあたっての注意・助言他					
・毎回の授業で出席をとる。 ・１５分以上の遅刻は、欠席とみなす。 ・遅刻３回で１回の欠席とする。 ・授業中の私語、スマートフォンなどの不必要な使用は慎むこと。 ・予習・復習を心がけ、日本語に触れる環境を意識して作ることを望む。					
教科書					
.使用しない。					
参考図書					
.なし。					

その他		
プリント資料は必要に応じて配布する。文献は適宜指示する。		
授業計画		
第 1 回	授業に関するオリエンテーション（授業の進め方、スケジュール、評価方法、注意事項） 予習内容：N3レベルの語彙・文法などを自分なりに復習しておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）	
第 2 回	案内文、ダイレクトメールなど 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）	
第 3 回	伝言文、傳言・案内文など 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）	
第 4 回	カタログの文章、お知らせなど 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）	
第 5 回	説明書や保証書、通知の文章など 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）	
第 6 回	メールや手紙文、意見文 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）	
第 7 回	ビジネス文、説明文 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）	
第 8 回	グラフの説明文、エッセイ 予習内容：第 1 回～第 7 回の授業内容を復習し、「中間の理解度確認」に向けて準備しておく。（120分） 復習内容：中間の理解度確認」で達成度の低かった箇所を中心に復習し、内容の理解を深める。（120分）	
第 9 回	グループの説明文、エッセイ 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）	
第 1 0 回	新聞記事、小説 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）	
第 1 1 回	日記、新聞記事 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）	
第 1 2 回	小説、随筆 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）	
第 1 3 回	長英文、長い解説文 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）	
第 1 4 回	長英文、複雑な解説文 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）	
第 1 5 回	長英文、複雑な解説文 予習内容：「期末の理解度確認」のための準備をしておく。（120分） 復習内容：「期末の理解度確認」で達成度の低かった箇所を中心に復習し、内容の理解を深める。（120分）	
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
☐ ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
☐ ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
☐ オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A ｓ 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」になるための基礎能力として、必要な日本語能力を身に付け、活用することができる。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
実務経験の有無及び活用		
備考		